



【太平洋と初日の出】

▼ 元日 「初日の出」午前 6 時 49 分頃、  
東南東の方角から昇ります。

▽ 6 日 「小寒」(二十四節気)

冬至から 15 日目、この日から節分までが「寒の内」で、例年ではこれからが本格的な寒さのはじまる頃です。

▼ 7 日 「七草」

▽ 11 日 「鏡開き」

▼ 20 日 「大寒」(二十四節気)

冬の季節の最後の二十四節気、各地で年間の最低気温が記録される頃。

日立の気候表

	12 月	1 月	2 月
平均気温	7.2℃	4.5℃	4.4℃
最低気温			
の月平均	2.8℃	0.2℃	0.2℃
降水量	31.3mm	46.3mm	61.9mm
日照時間	189.9 時間	195.0 時間	173.0 時間

【平年値 (1971~2000 年)】

### 《太平洋とエルニーニョ現象》

日立の東に広がる「太平洋」面積はおよそ 1 億 5,556 万平方キロメートル、想像できない広さですが、地球表面の 3 分の 1 を占める世界最大の海洋です。

日立はこの「太平洋岸式気候」に属しているため、「夏は涼しく 冬は暖かい」住むにはたいへん恵まれたところではあります。

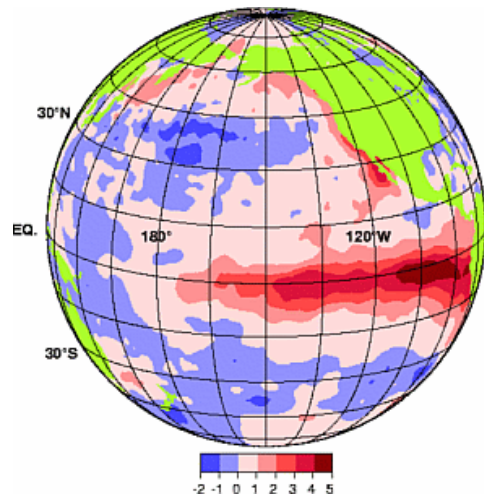
海洋の水温や海流の変化は、地球全体の気候変動と密接な関連があると考えら

れています。

昨年 11 月に気象庁は『エルニーニョ監視海域の水温は、この冬の間から来年初春にかけて高い状態が続き、エルニーニョ現象となる可能性が高い』と発表しました。エルニーニョ現象は、太平洋赤道域の中央部から南米ペルー沿岸にかけての広い海域で海面水温が平年に比べて高くなる現象のことです。これとは逆に、同じ海域で海面水温が平年より低くなる現象はラニーニャ現象と呼ばれています。

エルニーニョ現象は、日本の天候にも影響を及ぼすと考えられており、日本の冬の気温は平年より高くなる傾向がみられます。また夏期には気温は平年より低くなる傾向があります。

【図(気象庁資料):エルニーニョ現象発生時の海面水温平年偏差(1997 年 11 月)】



※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。

<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso>

また、ケーブルテレビの行政放送(5チャンネル)で天気予報(毎日2回)や悪天候が予想されるときには臨時の気象情報を発表しています。

電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。